

2020年度学校関係者評価委員会評価報告書

教育理念

スクールモットーである「地の塩 世の光」の聖句を基軸にした育成人材像を明文化して、学校側と学生・保護者間の基礎基盤を明確化することが肝要と考えます。

学校運営

小規模校としての手造り教育を更に充実するよう期待しています。
なお、可能な限り業務内容の可視化に努め、良い意味でのマニュアル化による共通認識から業務の総合化また分担化に努めることが望まれます。

教育活動

二年間で幼保両資格取得のため、教育活動で過密が避けられない。この場合、重点事項についての精選作業が求められる。本校の特色にそって、この作業を積み重ね総花的ではなく、重点化に努めることが望ましい。

学修支援

近年は、志願者の多様化に適切に対応することが肝要である。また、可能な限り個別支援に努めることが求められる。このことにより、多様性の特色を活かす方向の中で本校の独自性を発揮することが望まれる。

学生支援

近年、経済的に困難な学生が増加しているため、適切な経済的支援に努めてほしい。また、小規模校の特色である個別相談支援に更に努めるよう期待しています。

教育環境

コロナ感染症対策に引き続き努めること。
情報機器の拡充に努めること。
防災対策に努めること。
オンライン授業での創意工夫に努めること。

学生の募集と受け入れ

経済的困窮問題への適切な対応が必要である。在校生・卒業生などによる本校の特色についての PR 活動を拡充することも望まれます。

法令等の遵守

定期的な運営委員会の開催を実行すること。
評価で出された改善点へのその後の速やかな対応と実施、それらの広報が望まれます。

社会貢献・地域貢献

専門学校のハード面(施設)と共にソフト面(教育的な人的資源)による地域社会への更なる貢献が望まれる。また、学生たちが地域行事などとの相互交流や地域奉仕などでの貢献が期待される。